

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	地域振興部 新幹線対策課	川口 正剛
施策名	2 九州新幹線西九州ルートの整備と開業効果の拡大	事業群関係課(室)		
事業群名	② 新幹線開業に向けたアクションプランの推進	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額 44,337	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
<p>令和4年秋の九州新幹線西九州ルート(武雄温泉～長崎)の開業に向けて、その効果を県内各地へ波及・拡大させるため、①県民の気運醸成、②誘客促進、③県内各地への周遊促進、④来訪者の満足度向上、⑤産業の振興の5つの方向性に沿って、幅広い分野にわたる項目に官民一体となって取り組んでいきます。併せて開業時期や対面乗換の方法など、開業に係る情報発信を強化し、県民の理解を深めていきます。</p>		i) 新幹線開業効果拡大事業の実施							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	JRIによる府県相互間旅客輸送人員 (関西・中国・福岡県～長崎県)	目標値①	—	基準値+15%	2,305千人	2,305千人	2,305千人	2,305千人 (R7)	新幹線効果拡大に向けた各種事業を実施した結果、令和4年度の目標を達成する等、進捗状況は順調である。
		実績値②	894千人 (R3)	894千人	1,482千人	算定中			進捗状況
達成率②/①			144%					順調	

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和5年度事業の成果等	
				R4実績	うち一般財源	人件費(参考)		R4目標	R4実績	達成率		
				R5実績								R5目標
取組項目 i	○	1	Hello! KAMOME 新幹線開業効果拡大事業	44,337	3,006	15,318	<p>●事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線を活用して県内を周遊する個人向け旅行商品造成への支援 開業1周年イベントの開催 子ども向け無料乗車会の開催 修学旅行等における新幹線利用への支援 西九州新幹線長崎県広報大使を活用した県外プロモーション <p>●実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線利用を組み入れた旅行商品の造成を支援した。 9/23,24の2日間、出島メッセ長崎や長崎駅コンコースにおいて、西九州新幹線長崎県広報大使のトークショーや県内全21市町の特産品などのブースを集結させたイベントを実施した。 県内の小学生以下の子ども達を対象とした新幹線の無料乗車会を開催した。 県内小中学校を対象とした修学旅行等における新幹線利用を支援した。 福岡県等において、SNS広告やTVCM放映、交通広告など、西九州新幹線広報大使を活用したプロモーションを行った。 	【活動指標】	1	1	100%	<p>●事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線利用を組み入れた旅行商品の造成を支援した結果、12,379人泊の実績となった。 開業1周年イベントでは、2日間で約3万人の来場となった。 新幹線の無料乗車会には、保護者を含めた約1,000名が乗車、新幹線の快適性のほか、対面乗換の現状も理解いただき、全線フル規格に向けた気運醸成にも繋がった。 県内小中学校の修学旅行等における新幹線利用を支援した結果、離島を含む46校、1,327人の生徒が西九州新幹線を利用した。 福岡県等における西九州新幹線広報大使を活用したプロモーションにより、西九州新幹線の認知度向上に寄与した。 ●事業群の目標達成への寄与 誘客促進、利用促進、認知度向上等に向けた各種事業の実施により、各地との周遊促進等に寄与している。
				21,480	7,222	15,562		【成果指標】	-	-	-	
			R5-7	-	-	-		JRIによる府県相互間旅客輸送人員【関西・中国・福岡県～長崎県(千人)】	2,305	算定中	-	
			新幹線対策課	-	-	-		県、市町、民間企業等	2,305			

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	新幹線開業効果拡大事業の実施	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>令和5年9月の西九州新幹線開業1周年に合わせて、福岡圏を中心にプロモーションを実施し、JR九州や各市町と連携したイベントを実施した結果、西九州新幹線の認知度は大きく上昇したほか、新幹線を利用した旅行商品の造成を支援したことで、県内への周遊を促進できた。今後は、西九州新幹線の効果を県内各地域へ波及させるため、安定的な新幹線利用者の確保と来県者の県内周遊促進への取組を強化する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>フル規格に向けた気運を醸成するため、JR九州や各市町等と連携した周年イベントを実施するとともに、子供向け無料乗車会を開催し、西九州新幹線の現状や課題について考える機会を創出する。また、修学旅行等における新幹線利用を支援することで、安定的な利用者の確保に努めつつ、県北地域で観光列車の実証運行を実施し、県内への周遊を促進する。</p>
---	----------------	---	---

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容		令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	Hello! KAMOME 新幹線開業効果拡大事業	修学旅行等における新幹線利用への支援について、更に積極的な利用を促すため、県外の小中学校についても対象とした。また、D&S列車「ふたつ星4047」について、長崎～佐世保間の実証運行を実施し、県内周遊の更なる促進を図ることとした。	②	西九州新幹線の開業効果を県内各地域へ波及させるため、安定的な新幹線利用者の確保と来県者の県内周遊促進への取組を引き続き実施するほか、県外プロモーションに関する取組等を行っていく。	改善
			R5-7				
			新幹線対策課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができていないか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点